

DPCデータ分析

地域での立ち位置を確認しよう！

今井志乃ぶ、清水沙友里

東京薬科大学

医療経済研究機構



本日の内容

地域での立ち位置を確認しよう

厚生労働省の公開データを活用しよう

県内医療機関(DPCⅢ群病院のみを対象)における機能
評価係数Ⅱの経年比較

増補改訂版が5月に発売になりました！！

DPCに関する基礎知識

自院のDPCデータを活用する

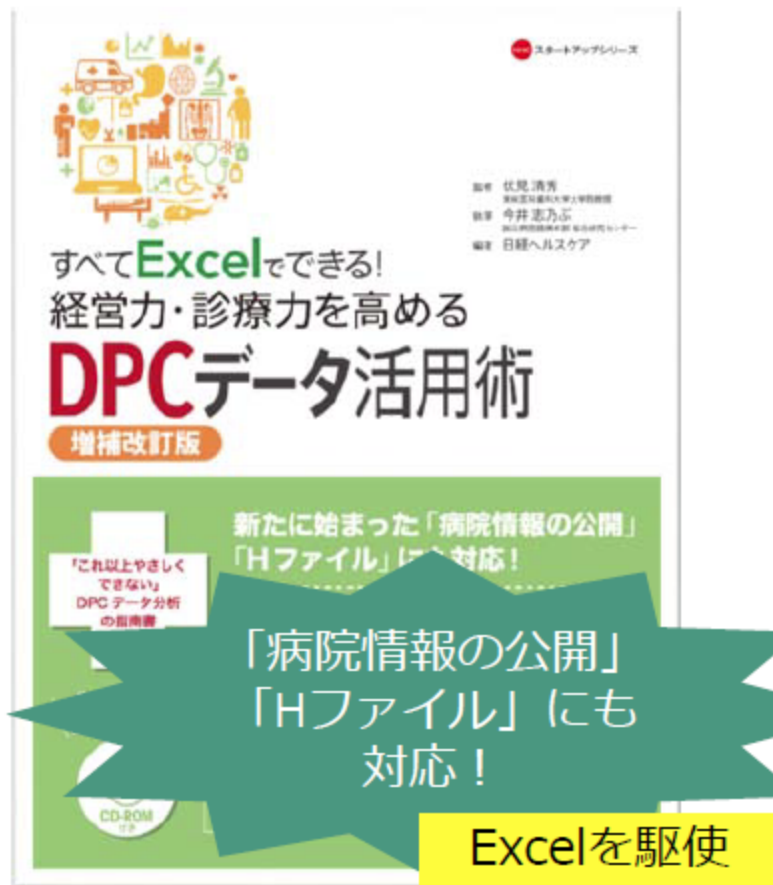
- Section1 データを用意して集計・分析にトライ
Section2 基礎・応用で分かる 集計・分析の実際

厚生労働省のDPC公開データを活用する

- Section1 データを用意して集計・分析にトライ
Section2 基礎・応用で分かる集計・分析の実際

DPC以外の各種統計データを知る

- Section1 各種統計データの入手法と指標が示す意味
Section2 集計・分析の実際～統計データからできる分析



伏見清秀 監修・今井志乃ぶ 著
／日経ヘルスケア 編

価格：本体円 12,000円（+税）
●書籍+CD-ROM 1枚

DPC調査データの概要

内容			様式の名称
患者別匿名化情報	診療録情報		様式 1
			Hファイル
	診療報酬 請求情報	医科点数表による出来高情報（全患者）	EFファイル
		診断群分類点数表により算定した患者に係る診療報酬 請求情報	Dファイル
		医科保険診療以外のある症例調査票	様式 4
施設調査票（平均在院日数、病床利用率）			様式 3

■平成28年度「DPC導入の影響評価に係る調査」 実施説明資料

http://www.prism.com/dpc/setumei_20160401.pdf

■平成26年度「DPC導入の影響評価に係る調査」 実施説明資料

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000046158.pdf>

■平成24年度退院患者調査の結果報告について

厚生労働省中医協DPC分科会資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>

Administrative database としてのリンケージ

平成23年度より統合

様式1	Eファイル	Fファイル
施設コード	施設コード	施設コード
データ識別番号（患者）	データ識別番号（患者）	データ識別番号（患者）
退院年月日	退院年月日	退院年月日
入院年月日	入院年月日	入院年月日
患者属性	データ区分番号	データ区分番号
入院情報	順序番号	順序番号
診断情報	行為点数	行為明細番号
手術情報	行為薬剤料	レセプト電算コード
診療情報	行為材料料	行為明細点数
DPCコード	行為回数	行為明細薬剤料
Dファイル	実施年月日	行為明細材料料

テキストの付録を確認しよう！！

引用) 伏見 2010.12.05セミナー資料

DPCデータの認識違い

- 第1章 自院のDPCデータを活用する
→DPC参加病院が厚労省に提出するデータ形式
様式1、EFファイルを利用（デモデータ）
（伏見研究班の研究参加病院のもの約1,000病院）
- 第2章 厚生労働省のDPC公開データを活用する
→DPC参加病院が提出したデータを、行政側で集計したデータ。
これは生のDPCデータではない。

DPC調査データで出来ること

病院経営の視点

- 出来高と包括の請求額を比較し、**無駄を洗い出す**
- 他施設と比較して**自院の立ち位置**（患者構成）を確認する。

政策提言の視点

- 診療報酬の改訂について要望する際に、DPCデータの分析を活用する。
- 診療報酬点数は、データの蓄積により分析され、決定される。

研究の視点

- 診療行為の評価・・・健全経営の為には、**提供する医療サービスの質**が高いことが大切、と考える経営者もいる。
- 薬剤疫学研究/臨床疫学研究

本日の内容

厚生労働省の公開データを活用しよう

厚生労働省のDPC公開データを 活用してみよう！

厚生労働省のホームページから、必要なデータをダウンロードします。

図1 DPC 公開データへのアクセス方法



表 1 DPC 公開データが掲載されている DPC 評価分科会の一覧

平成 26 年度 第 5 回 DPC 評価分科会	2013 <平成 25>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000056344.html	
平成 25 年度 第 7 回 D P C 評価分科会	2012 <平成 24>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html	
平成 24 年度 第 5 回 DPC 評価分科会	2011 <平成 23>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002hs9l.html	
平成 23 年度 第 9 回 DPC 評価分科会	2010 <平成 22>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001u23a.html	
平成 22 年度 第 3 回 DPC 評価分科会	2009 <平成 21>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/06/s0630-7.html	
平成 21 年度 第 3 回 DPC 評価分科会	2008 <平成 20>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/05/s0514-6.html	
平成 20 年度 第 1 回 DPC 評価分科会	2007 <平成 19>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/05/s0509-3.html	
平成 19 年度 第 1 回 DPC 評価分科会	2006 <平成 18>年度調査分
http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/06/s0622-7.html	

機能評価係数のデータは、
『DPC導入の影響評価に
係る調査「退院患者調
査」の結果報告につい
て』とは異なる場所に公
開されています

平成27年度 第1回DPC評価分科会 2015<平成27年度>調査分
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000083860.html>
 平成28年度 第1回DPC評価分科会 2016<平成28年度>調査分
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000125205.html>
 平成29年度 第1回DPC評価分科会 2017<平成29年度>調査分
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000165562.html>

公開データ活用のポイント

Point 1

DPC公開データには、病院の所在地に関する情報が記されていない。

⇒DPC調査対象病院リストを利用する。

Point 2

医療機関別の集計結果で症例数が10件未満の場合は「-」となっている。

⇒「-」を便宜的に「0」に置き換える。

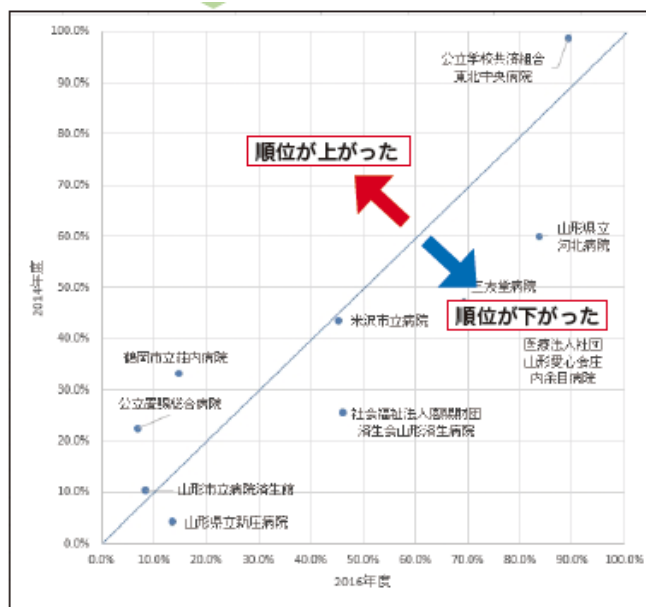
Lesson 1

県内医療機関(DPCⅢ群病院のみを対象)における機能評価係数Ⅱの経年比較

今回の分析では、例として「山形県」における「DPCⅢ群」病院の平成24年データと平成26年データの「機能評価係数Ⅱ」を比較します。

- テキスト
P.250～271

完成形



対角線より右下にいる医療機関が順位が悪くなり、対角線より左上にいる医療機関は順位が良くなっていることが分かります。

※公表データ

「2016年度医療機関別機能評価係数Ⅱ.xlsx」

「2014年度医療機関別機能評価係数Ⅱ.xlsx」は配布データに同包

ここをチェック

Point 1

DPC対象病院の機能評価係数Ⅱは毎年公表されているが、DPC病院が増えたり、あるいは新しい係数が追加されたりするなどして、係数の重み付けが変わる。そのため単純に機能評価係数Ⅱの数値を比較しても、経年変化を正しく捉えられない。

Point 2

機能評価係数Ⅱの合計に基づくDPC対象病院の順位を集計し、上位何%に入っているかを改定前後で比較する。

おまけ

使える！！二次医療圏に関するデータ

■医療経済研究機構

郵便番号・二次医療圏対応表（平成28年度）

<http://www.ihep.jp/business/other/2017/>

■産業医大

公開資料 DPC分析関連

[H26公開データ医療機関二次医療圏.xlsx]

<https://sites.google.com/site/pmchuoeh/files/dpcfiles>

おまけ

使える！！地域医療に関するデータ

■医療経済研究機構

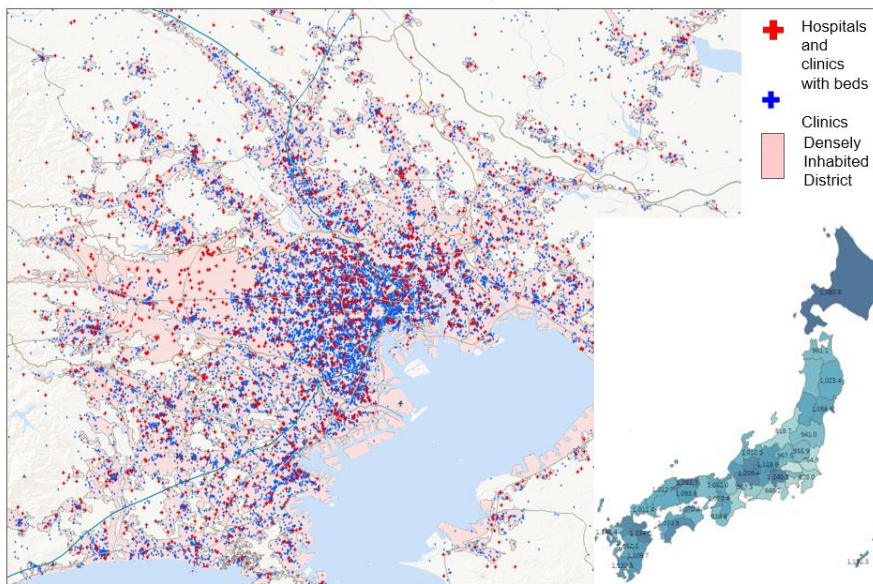
平成27年度 病床機能報告データ(全国版)

<http://www.ihep.jp/business/other/2017/>

■厚生労働省 平成28年度病床機能報告の報告結果について

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/open_data.html

Healthcare Facilities in Tokyo Metropolitan Area



N of patients
discharged to home

N of patients discharged to
geriatric health services

N of patients discharged to
another ward within a hospital



復習しよう

平成28年度データと**平成29年度**データで比較してみよう

■厚生労働省 平成29年度第1回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000165562.html>

（上記データは本日の資料で配布しています）